

2022 年度 卒業生アンケート
「東京女子大学の教育ならびに卒業生の就業状況に関する調査」
集計結果報告

2023 年 7 月
東京女子大学 自己点検・評価委員会

調査概要

- ・ 目的：卒業生を対象に、本学での学修の成果や卒業後の就業状況について尋ね、今後の教育の向上や改善につなげていく
- ・ 方法：Web 調査
- ・ 調査対象者：1654 名（内訳：2012 年 3 月卒 776 名、2019 年 3 月卒 878 名）
- ・ 調査実施期間：2022 年 12 月 26 日～2 月 3 日
- ・ 回答者
- ・ 有効回答者数：566 名（内訳：2012 年 3 月卒 262 名、2019 年 3 月卒 304 名）
 - 重複回答（12 名）を除外
 - 有効回答率が 8 割未満のもの（8 名）を除外（図 1）
- ・ 有効回答者数：33.6%

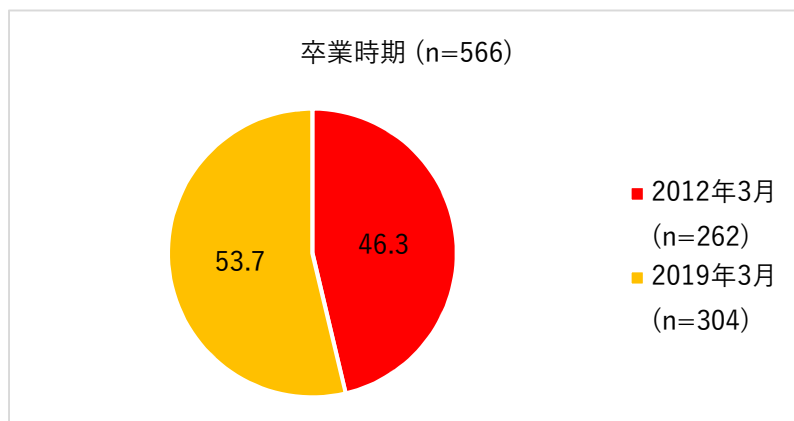
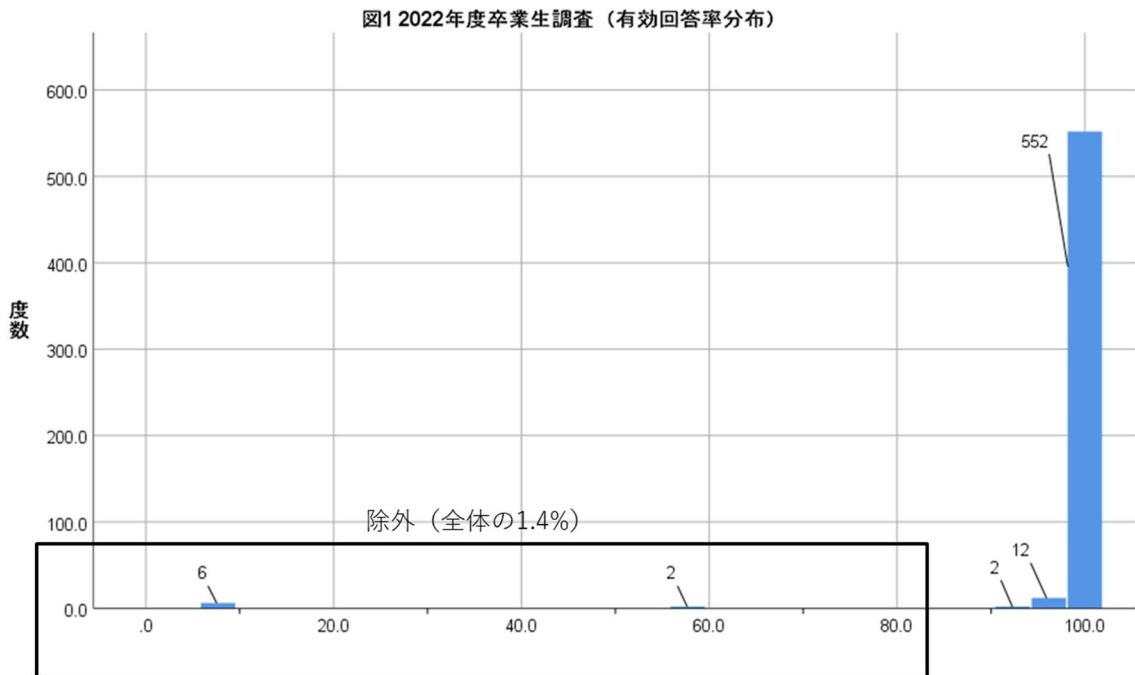
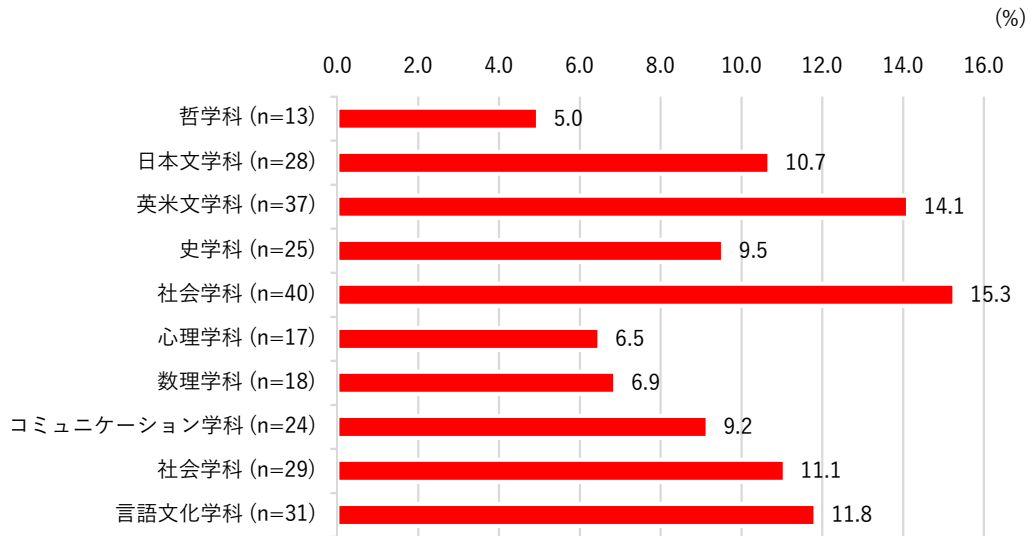
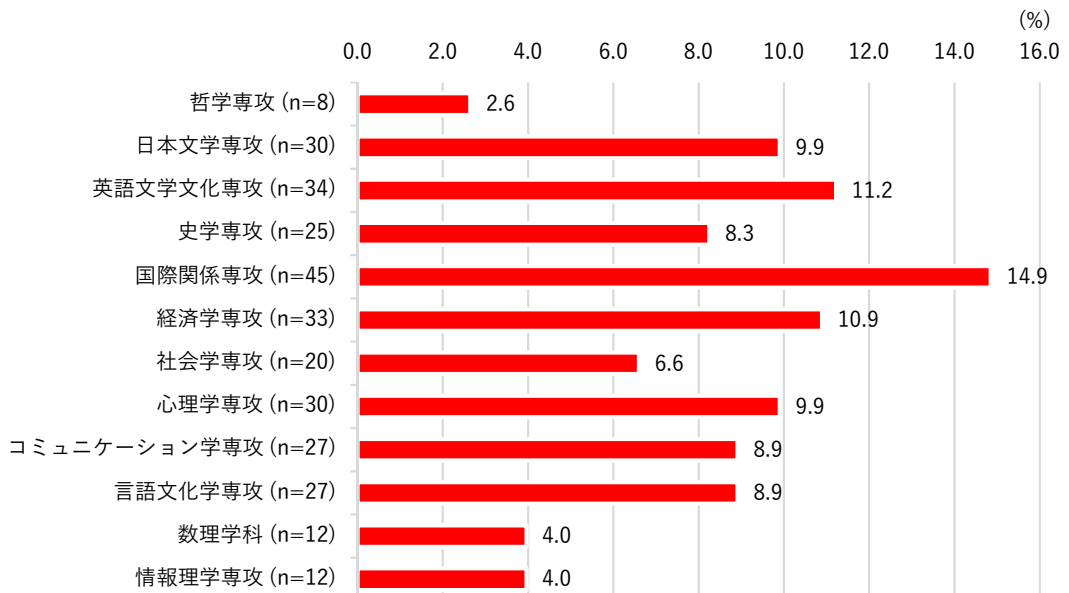


図3 卒業時の学科（2012年3月卒）（n=262）



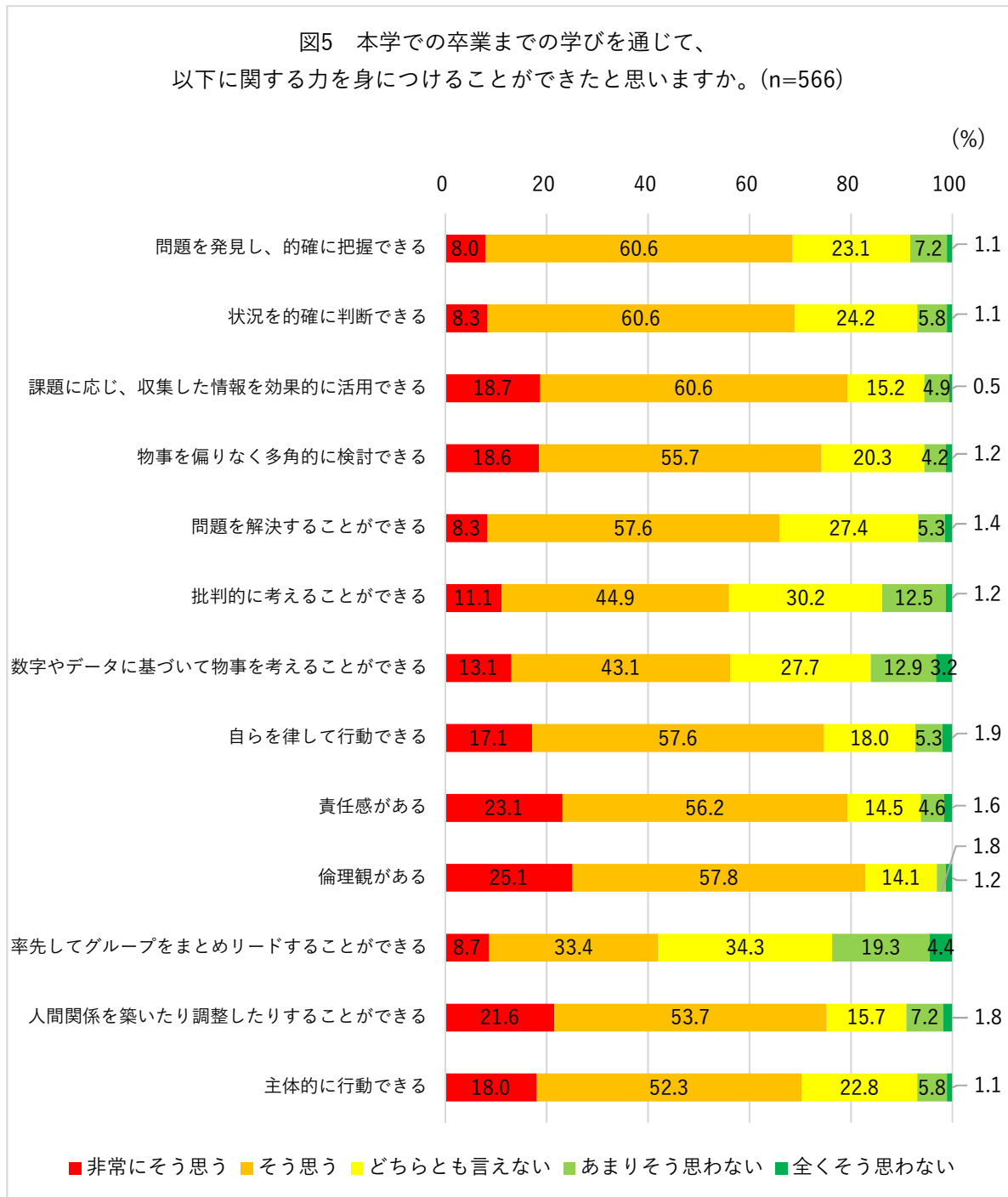
卒業時の専攻（2019年3月卒）（n=303）



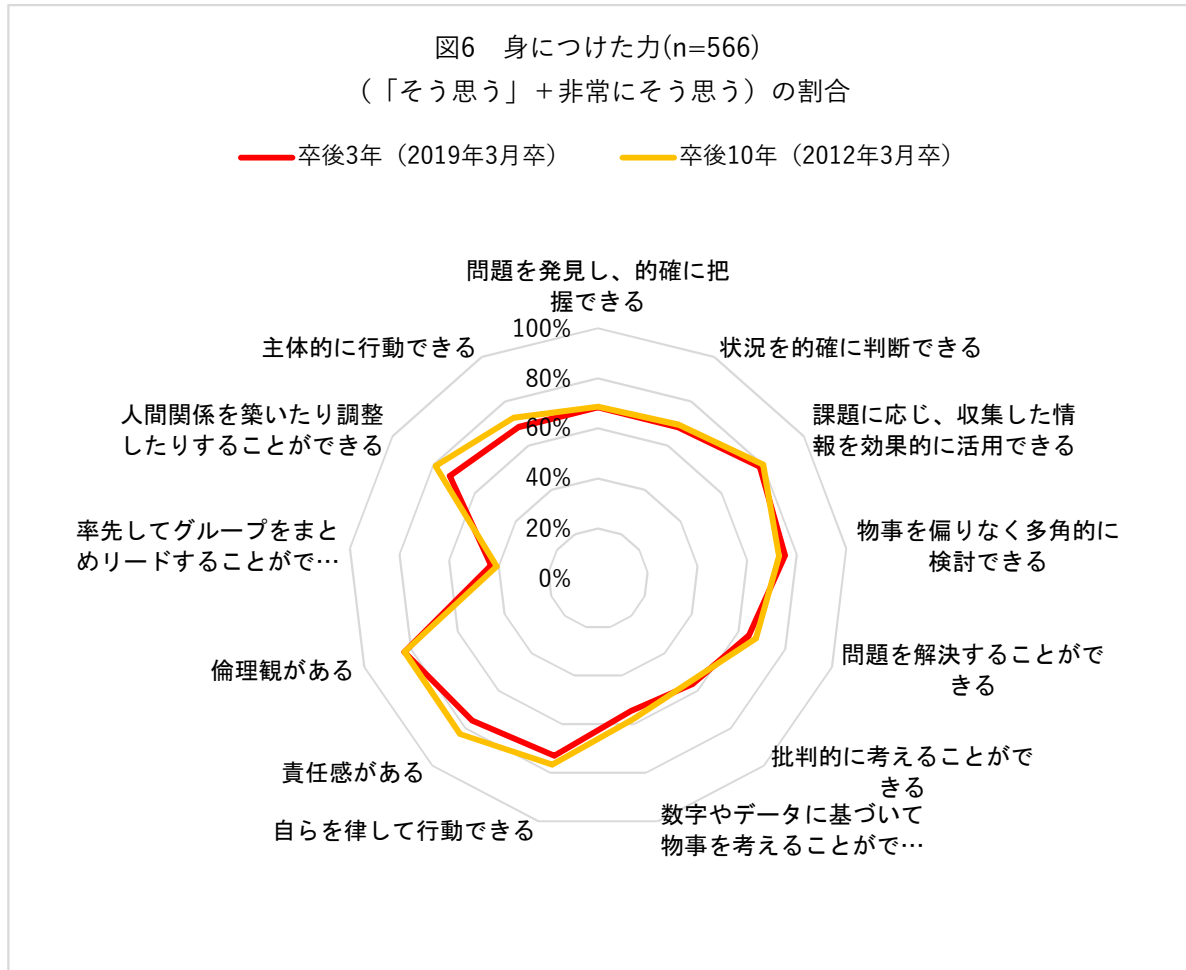
調査結果

1. 身につけることができたと思う力・スキルについて

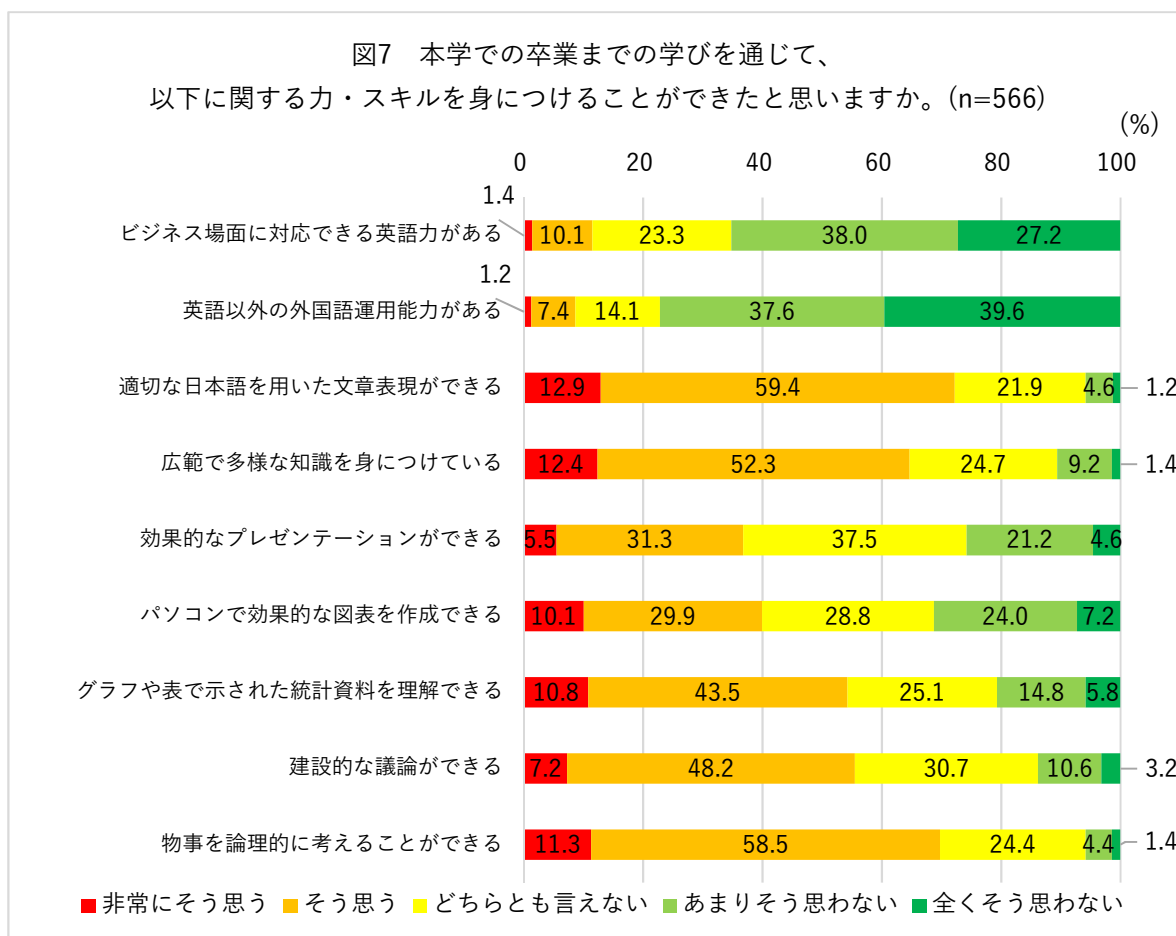
「身につけることができたと思う力」について尋ねた結果を図5に示す。「批判的に考えることができる」「数字やデータに基づいて物事を考えることができる」「率先してグループをまとめリードすることができる」以外の項目で、肯定的な回答（「非常にそう思う」「そう思う」）が6割を超えた。例年と同様、「倫理観がある」が最も高くなった。



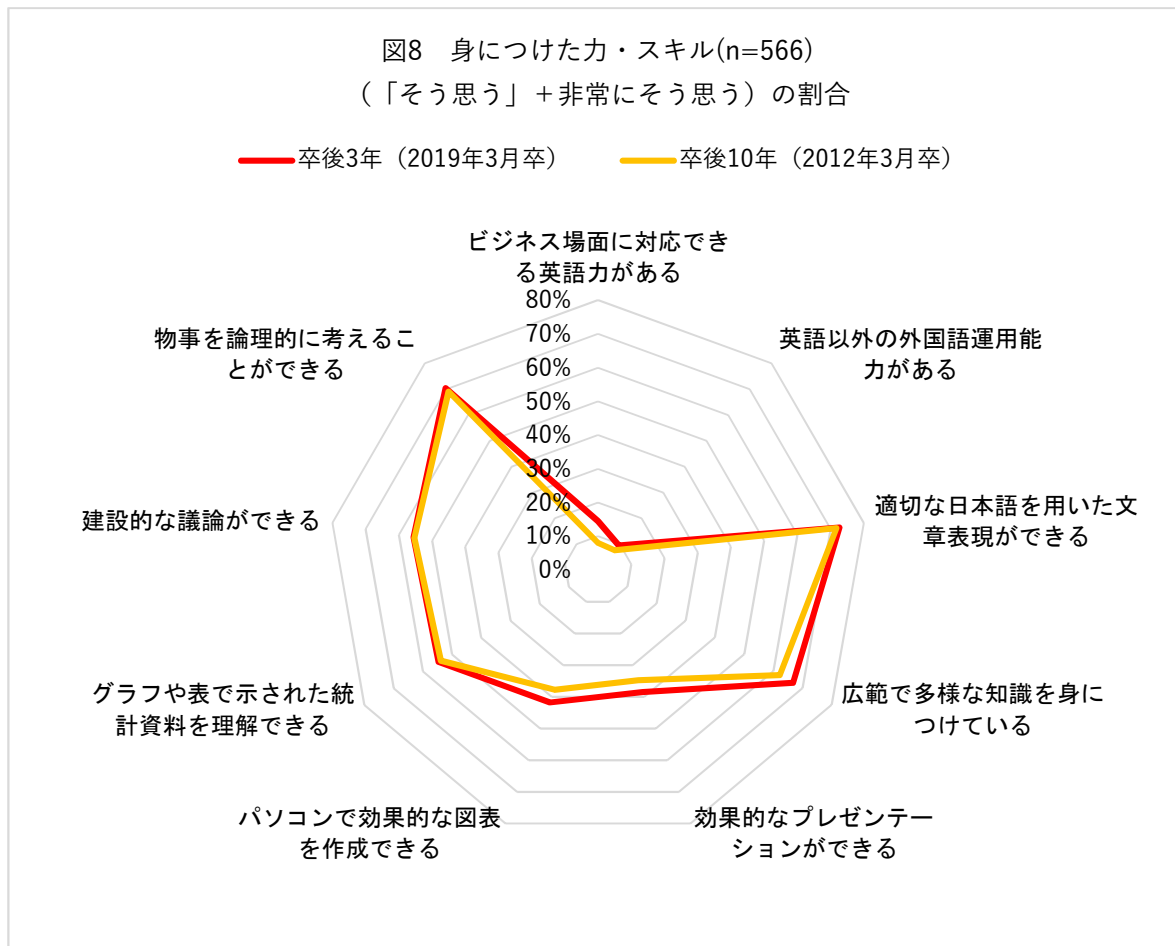
卒業年別で傾向を比較するため、「身につけることができたと思う力」の肯定的な回答の割合のレーダーチャートを作成した(図6)。「責任感がある」「人間関係を築いたり調整したりすることができる」は2012年3月卒の卒業生が高い傾向にあった。



「身につけることができたと思う力・スキル」について尋ねた結果を図7に示す。「適切な日本語を用いた文章表現ができる」「広範で多様な知識を身につけている」「物事を論理的に考えることができる」で肯定的な回答（「非常にそう思う」「そう思う」）が高く、6割を超えた。



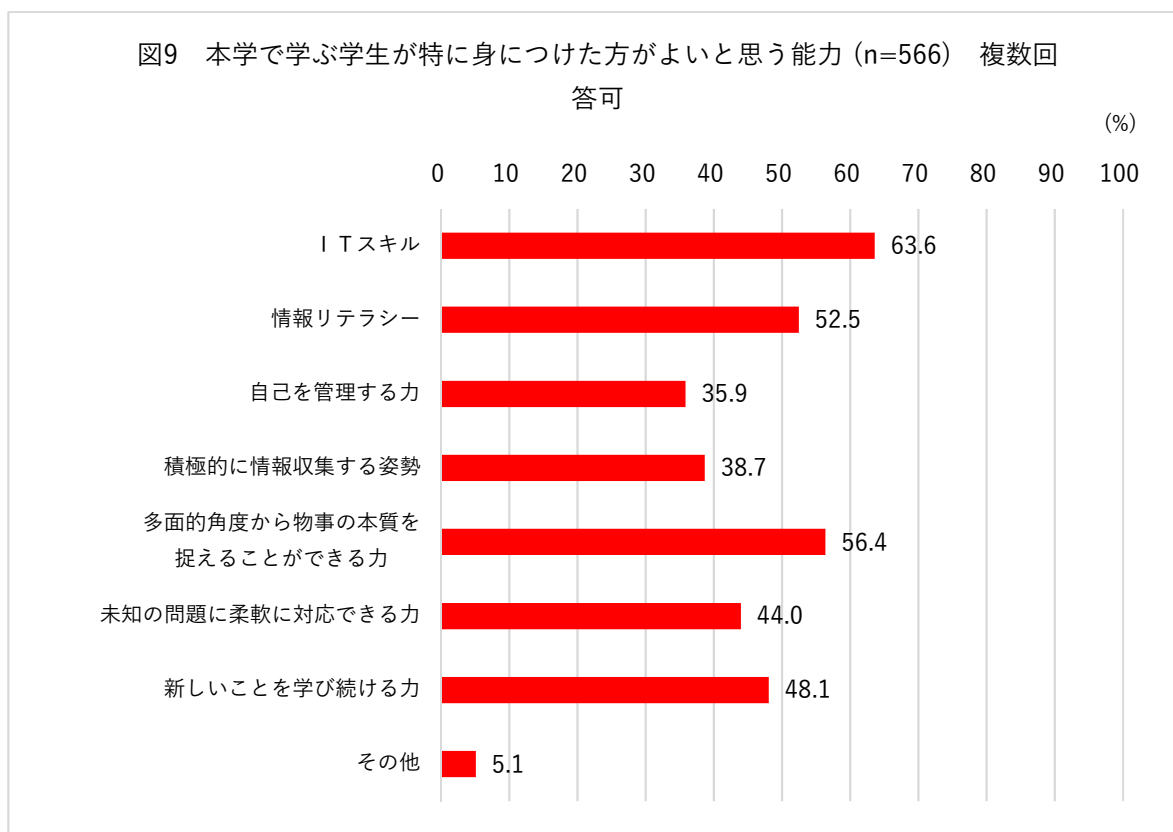
「身につけることができたと思う力・スキル」も卒業年別で傾向を比較するため、肯定的な回答の割合でレーダーチャートを作成した（図8）。全ての項目で2019年3月卒の卒業生が高く、特に「ビジネス場面に対応できる英語力がある」「広範で多様な知識を身につけている」「効果的なプレゼンテーションができる」「パソコンで効果的な図表を作成できる」が高い傾向にあった。



2. 身につけたほうがよいと思う能力

「本学で学ぶ学生が特に身につけたほうがよいと思う能力」について尋ねた結果を図9に示す。

「ITスキル」「情報リテラシー」「多角的角度から物事の本質を捉えることができる力」の項目では、5割以上が身につけたほうがよいと回答した。データサイエンスに関する回答は例年、上位に食い込んでおり、職種に関わらず、社会人として業務を遂行する上で重要なスキルであることが伺える。



「その他」

その他の具体例の記述には以下のようなものがあった。

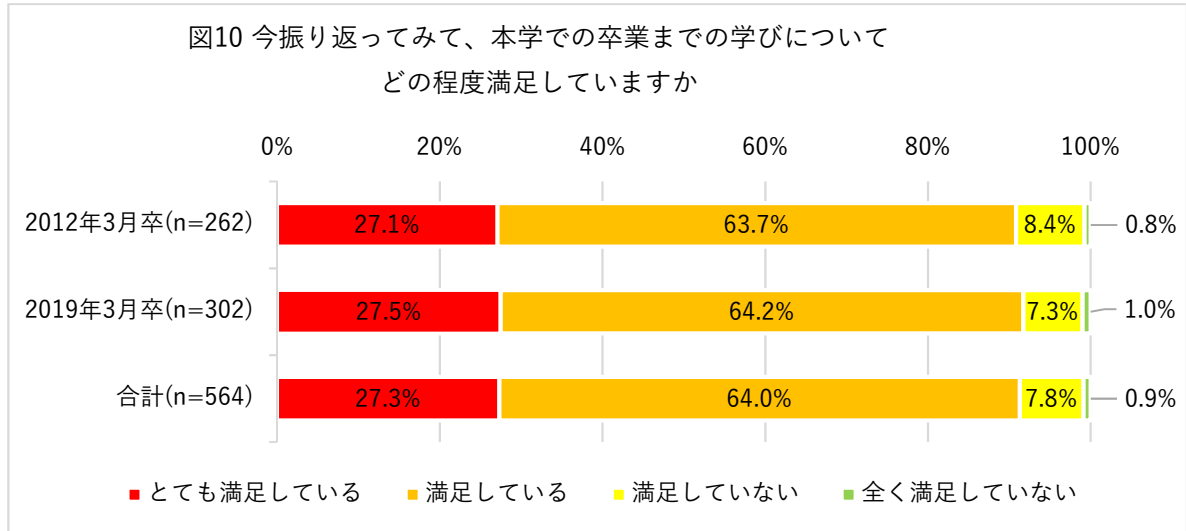
- ・ 英語、プレゼンテーションスキル
- ・ 英語力
- ・ ビジネス英語
- ・ 言語運用・表現能力
- ・ 言語力、行動力
- ・ 語学力、留学
- ・ 社内の人との関係構築力
- ・ コミュニケーション力
- ・ ディスカッション能力
- ・ 世の中の出来事に対して自分の意見をもつこと
- ・ 知的好奇心(新しい趣味や仕事のきっかけを掴む力)
- ・ 行動力

- ・ 性別関係なく主体的に動く力
- ・ 状況に応じた柔軟な発想
- ・ 5と重複するかもしれませんが、多様な考えを知り、受容と拒否のどちらもできる力
- ・ **LGBTQ** への理解
- ・ 論理的思考力
- ・ ある一つのことについて公平公正透明性を持った判断や結論を出すこと。自分の考え方や行動に根拠を持つ。カルト宗教や一つの考え方だけで考えて結論づけることの恐ろしさ
- ・ メンタルヘルスケア
- ・ 自身のメンタルケアの方法(どんな方法が自分に合っているのか考える授業など)
- ・ データを正しく扱う能力
- ・ 数値分析方法
- ・ マネーリテラシー
- ・ 社会保険、税金の知識
- ・ **Excel**、**PowerPoint** の使い方
- ・ **Excel** スキル
- ・ 国家資格を取れる専門知識

など

3. 本学での学修に対する満足度

「本学での卒業までの学びについてどの程度満足していますか。」と尋ねた所、図 10 の結果となった。肯定的な回答（「とても満足している」「満足している」）の割合が 2012 年 3 月卒・2019 年 3 月卒共に 9 割を超えた。



4. 本学の教育成果

リベラル・アーツ教育

「本学は『専門性を持つ教養人』を育成すべくリベラル・アーツ教育を行っていますが、卒業後にどのように活かされているでしょうか。」に対する自由記述を「肯定的」「否定的」「肯定的+否定的」「その他」の4つのカテゴリに分けた結果を以下に示す。

肯定的 (n=126)

「女性学」について議論することが出来ている。
「性別」というものが無くなってきている世の中、周りの人にはまだ LGBTQ の方々が受け入れられていないと感じる場面が多々ある。そのような場面で、自身からプラスな発言をすることで周りの人にも理解を広めるようにしている。
1 つのことを深く学ぼうとする知的好奇心や周囲と議論しながら学びや知見を深める姿勢は東女で生まれ、社会人になっても非常に活かされています。
IT スキルやプレゼンスキル、文系科目だけでなく、理系科目も学ぶことが出来、その後製薬会社で営業やマーケティングのキャリアを築くことができた。
IT 関連企業就職後、コミュニケーション学科で情報の歴史学や C 言語など履修できた。歴史学では、自分が地域文化の学生であることを前提に、教授から問題を出してもらい、回答するシーンがあったことが印象的だった。専攻から離れた就業先だったが、苦手意識はなく、興味の範囲が自然に広がった。
オフの時、いろいろな分野の事に触れている。普段自分に馴染みがない事でも興味を持ち、それを日常としている人達に思いをはせる事が出来ている。
お客様と話すときに知識として役立っているように感じる。
コミュニケーションの中で、どんな話材でもある程度抵抗なく話すことが出来るが、もっと深く勉強すべきだったと思います。
さまざまなバックグラウンドを持つ方々との会話の糸口が広がります。
さまざまな政治、経済、社会問題に興味関心を持ちながら仕事ができている。
テレビや Web メディアで見聞きした事について、疑問を持ったり、問題意識が生まれたりした時、ふと学生時代の講義で先生方がおっしゃっていたことや場面を思い出す事がある。その記憶を起点として、改めて今の自分がものごとをどう捉えるかを考えるようにしている。
ビジネスのスマールトーク時の教養
ファッション業界から音楽業界に転職をチャレンジする力をつけました。
プログラミングの授業を履修したので、現業務に直結しています。
一つの事案について考える際に、多面的に考えてみたいと思える。
一般常識の範囲が広がってるかもです
一面でなく広く物事を考えること。
英語を使う仕事についていますが、学生時代に学んだことを使うこともあります。
会議、プレゼン、商談、日常業務の場において、論理的に言語・文章をまとめられること活かさ

れている。
学科で学んだことを活かせる分野に就職できた
活かされているか？と深く常に意識はしていないけれど、何か新しいことをする時は準備や調べ、どうありたいか？を自分なりに考えている。
疑問を持って考える力
共通科目が様々な分野にまたがって展開されていたので、自身が所属する学部以外の専門性の高い授業を受けることができ、多角的な視点で物事を考えることができ、仕事においても多角的な視点で物事を考える癖がついたと思います。
教員として勤務していますが(社会科日本史・世界史担当)、社会科のエキスパートとして専門性を日々磨いています。学生時代に培ったことができたゆえのものだと思います。
教員として生徒と接する際、理系の生徒に対しても、文系の生徒に対しても、様々な視野から物事を説明できるようになりました。
教職課程を通し、教員としての基本的な知識、技術を、学校現場で活かすことが出来ていると思います。
興味を広く持つことができる
興味を持てる分野が増えたことで、就職後に異動などで数年おきに異なる分野を担当することになった際、その分野を追究する基礎となっている
銀行員としての業務の専門性をもちつつ、お客さまとの会話やつながりの中で、その専門性以外の部分においてもお客さまからの信頼を得られるよう日々努力している。
結果として教員の道は選ばなかったが、教員免許を取得するために受けた授業は知識として有用と感じた
現在、所属している広報部門において幅広い世代の人々とのコミュニケーションに活かしています。
現在教師をしておりますが、多角的視点にたった教え方を学ぶことができたと思います。
現状のシステムや組織をより良くするために自ら課題を見つけ取り組み改善していくことに活かしています。
言葉の使い方を考えるようになり、上司への言葉遣い、メール文章の作成時などビジネスシーンにおいて考えて使うことに活かされている。
公立高校の教員として働いています。日本文学科で養った、多角的に事象を見つめる力は、授業だけでなく生徒理解にも生きています。
広い視野をもって物事を見ることが出来ている。決断力、行動力が身につく柔軟に仕事に向き合うことが出来ている。
国際関係専攻で気づかれた様々な地域や分野の知識は、今国際協力の業界で働くにあたって土台になっていると思う。
今や色々忘れてしまっているが学生時代に学んだ知識に親しみをもち生活している。
仕事だけでなく、日常生活においても学生時代に学んだ知識や教養を活かして物事を考えるよう

にしている。
仕事での、自身の専門性を磨きながらも周囲の様々な考え方の人と協力して物事をすすめていく、という姿勢に役立っております。
仕事で分からないことを「なぜ」まで追究するようになったこと
仕事にて課題があった際、多角的な視点から物事を考える姿勢がリベラル・アーツにより養われたと感じる。
仕事をする上で活かされている程度は分かりませんが、ニュースをはじめテレビ等のメディアに触れる際に、大学時代に聞いたことのある知識であると思うことが多々あり、理解の助けになることがあります。
仕事以外の部分でいろいろなことに興味を持てるようになった。
私の業種ではあらゆる分野の方と関わる業種で、分析力やコミュニケーション力、言語能力など様々な能力が必要とされる。どんな時も自分・相手の気づきに繋がるような力が求められ、大小問わず活かされていると感じる。
私の就職先は大学での専攻と直接の関係はありませんが、大学で学んだ情報処理方法や知識、なによりも自分の生きる姿勢は卒業後も私の支えとなっています。
私は8年間、信託銀行の事務職を務めたのち、自らのやりたい仕事に向き合い、今はデザインを仕事にすべく子育てをしながら勉強しています。好きな分野を勉強し続けることは今でも活かされています。
私は教員という、ある意味資格が必要な専門職に就いています。しかし東女は教育学部がないので、自分の専攻以外に教員免許状取得のための勉強をしました。そのおかげで教育関係の知識はもちろん、専攻に沿った言語に関わる知識、学芸員の知識、その他たくさんのことを学び、いろいろな人と関わることができました。教育学部で教育しか学んでこなかった教員とは違い、教えられることの幅が広いし、経験も多く、生かすことができていると思います。
私は史学専攻でしたが、日本文学の他大学の大学院の修士課程に進学しました。総合教養科目や他専攻の授業で文学の学びを深めていたため、専攻が違うということで苦労したようなことはなかったです。東京女子大での学びの成果だと感謝しています。
視野が広がりました。
自らすすんで興味ある分野に没頭し学び続ける人
自ら課題を見つけ解決する力が育まれた。生活においてもビジネスにおいても、前向きに多角的に課題をとらえ解決することができる。
自身が気になったことについて専門書やネットで検索する力が備わった。様々な分野に対して以前より疑問を感じるようになった。
自身が興味を持った分野を多角的な視点で考察すること
自分が興味のある物事に対して、臆することなく学ぼうとすることができている。
自分が元々興味があったことではなくても、聞いてみようと思える姿勢
自分の先行分野だけでなく他学部の授業も選択できたため、幅広い知識が身に付いたと思う。サ

<p>ークル活動を通して、目標を達成するために集団がどう動くべきか学べた。</p>
<p>自分の専攻の分野だけではなく幅広い分野の学びにより、柔軟に考えられ、会議等での議論に生かされていると感じています。</p>
<p>自分の専門のみではなく幅広く学ぶことにより、物事を多角的な観点から考える力が企業で働く中で、問題解決や相手の立場の視点から物事を考える力が身についた。</p>
<p>実際に、航空業界に就職して、英語を使いながら専門スキルを磨いています。様々な職業や国籍の人に出会い、視野と知見を広げることが出来ていると思う。</p>
<p>社会で起こっている様々な問題に関して、普段の生活において関心を寄せて情報を収集しようという姿勢が身についているように思います。</p>
<p>社会に出て、自専攻以外の学科も総合教養科目で5分野均等に学んだからこそ、グローバル社会で海外の人と信頼関係を築くことができている。キャリアの成功としては、自ら考え、学ぶ力や基盤となる考えを持って、勉強をちゃんとしていたからこそ、社会に出てもすぐに仕事で求められることができた。</p>
<p>社会に出て様々な人と関わる中で幅広い教養を身につけられているように感じる。</p>
<p>社会人として働く中で、多角的な視点を持っていることを評価される機会が非常に多く、入社2年目で営業職から企画職へ異動しました。現在も、自身の専門を中心に様々な領域の知識を組み合わせる仕事に携わっており、大学での教育が生かされていると感じております。</p>
<p>社会人になって、自分の担当業務を専門的に学んでいくのと同時に全体にも目を向け、解決し、担当業務に活かしていくことができています。</p>
<p>社会人になってからも自分の専門の知識だけではなく、幅広い視野と興味をもって取り組むことができる点。</p>
<p>主体的に行動できるようになった</p>
<p>取引先との会話や社内での会話で活かせていると感じる</p>
<p>周囲より知識が多く、集団で物事を判断する際に率先して発言ができる</p>
<p>柔軟性の高い思考力、対応力。自分にとって明るくない分野に対しても果敢に挑戦する姿勢。</p>
<p>少しあるが興味あるが難しいことはわからない、と言う分野について自分で調べようと言う意欲がついた。</p>
<p>職業を選択する際に、自らが好きなことや、やりたいことや、できること、挑戦してみたいことを軸に考えて行動ができた。大学時代に卒業論文執筆にあたり、1年次から所属していた学科以外の講義を聴講したり、図書館で論文を読んで知識を深めたりと考えて行動をすることが肯定される校風だったからこそできたし、それが今の私に繋がっているように思う。</p>
<p>職業上、直接的に活かすことはできていないが、コミュニケーションをする上で自分の得意な分野・好きな分野として紹介できる点。</p>
<p>職場がほぼ女性だけだったので、女子大で身につけたリーダーシップや協調性を活かすことができたと思います。</p>
<p>職場や社会には様々な背景を持った人たちがいて、成り立っている。それぞれの得意分野を活か</p>

<p>せるチームでありたい、仕事で自分が上に立った時、その心掛を大切にしたいと思うし、自分も専門性を活かせるようにこれからも励みたいと思う。</p>
<p>色々な分野の人と会って話す時に共通の話題となるキーワードが大学で学んだ内容の中から見つかる時がある。</p>
<p>色々な境遇の人に共感し、関係を作ることができる。</p>
<p>色々な専門分野を学ぶことができ、多角的な知識が身についた。</p>
<p>心理学で学んだことは実社会を的確に捉える上で役立っている</p>
<p>心理学を広範囲に渡って学んだことで、人の心の仕組みやバイアスを知り、多角的な物の見方ができるようになったと思います。</p>
<p>心理学を専攻したことで、人の心の機敏や、おかれた状況から察する見方を身につけられたことは、現在働く児童福祉分野で大いに活かされていると感じます。</p>
<p>新しい分野に興味を持つこと、幅広い教養が身につけられたことで社内で積極的に新しい仕事に取り組むことができていると思います</p>
<p>進んだ学科の知識だけではなく、様々な分野の講義を選択し学ぶことができたので、社会に出てもコミュニケーションや話題に事欠かなかったです。自分の出た大学を誇れることが根底の自信に繋がっています。</p>
<p>人間科学科の授業で学んだことは、日々の生活において思い当たる場面が多く、「なんとなく」見過ごすような日常を考えるきっかけになっています。</p>
<p>数理学科を専攻していましたが、物事を論理的に捉えてみて、解決策を導き出す思考は社会に出てからとても役に立っています。問題を解決するにはどうすればよいのか考えていく力は本学で学び得ることができました。</p>
<p>接客業をしており、学んだこと、体験したことが、お客様との話の中で生かされている。</p>
<p>専門以外で学んだ雑学的な内容の方が、人と会話する際に役立っている。</p>
<p>専門外の一般教養の知識があり、俗に言う常識人であると自分では認識している。</p>
<p>専門分野以外にも知見があることにより、どんなお客様との会話でも話が弾む</p>
<p>潜在的には生きています。</p>
<p>全日空の客室乗務員として、自身の専門性を活かしながら、多様な人種に対応できるように日々教養を伸ばして続けている。</p>
<p>全般的に幅広く教養が身につき、活かされていると思います。</p>
<p>総務として働いているため他部署と関わる仕事が多いですが、一つの視点にこだわらずに多角的な視点を持って物事に当たる習慣が身についていると思う。</p>
<p>卒業後4年ほど精神障害の方を支援する仕事をした。仕事に就く前に精神保健福祉士の資格を取得したが、資格勉強の際に心理学の知識があったので非常に学びやすかった。</p>
<p>卒業後も専攻していた歴史を学ぶと共に、仕事では法学という別の学問を利用する職に就いている。</p>
<p>他人との関わり方</p>

多角的な視点を持つことができる
多方面の知識を得られたことでコミュニケーション力が上がったこと。
多面的な教養として役に立っている
多様な価値観を尊重しながら多角的に物事を捉えられる。
大学で身につけた専門性を活かす企業に就職はしなかったものの、大学経験を活かし、所属する部署で改めて専門性をもつ教養人になれるように努力した。
大学卒業後の自主的な学びや会社の業務において、課題を発見し解決する能力が必要であると痛感している。大学時代の授業ではそのための基礎力を養うことができたと思う。
哲学をよく知らない人に噛み砕いてわかりやすく教えることができる。
日本語の使い方は仕事でも活かされている。体育の授業のゴルフもやっていて良かった。特別専門性は持っていないと思うが、自ら主体的に学んだり行動する姿勢は、自分の強みだと思う。
日本語学校への教育実習等を経て、日本語が苦手な外国人と対面するとき日本語を噛み砕いて会話するよう意識した。
幅広い視野で物事を考えられるようになってきていると思う。
幅広い分野で教養を持つことの大切さを学んだので継続して学びを続けている。
幅広く得た知識があらゆる場面の会話で役に立っている
幅広く物事にチャレンジしようと思える知見の広さがとても役立つと思っています。また、少しでも知っている、と思うことがあると初めてのことでも取り掛かることが容易になります。
幅広く物事を捉え、考えるようになりました。
物事の本質を捉えることができるようになり、情報に惑わされず、客観的に判断できるようになった。
物事を鵜呑みにするのではなく、主体的に考える力がついた。例えば「今年は源氏物語が書かれて1000年」という物事に対して、その根拠は何かを探し「紫式部の日記の千年前の日付に「紫の上」という言葉が出てくるから」という根拠を見つける。そして、反論、異説は無いのかを考え「日記に紫の上が登場するという事は、その時点で源氏物語が有名になっていた証拠であるから、それより前に成立していたのではないのか」という意見を見つける、という様に。
文系学科ということもあり専門性は育っていない。教養として様々な分野への興味は広がったと思う。
偏見なく人と接することができます
偏見を持たず、多面的に考えることができるようになり、仕事で色々な人と関わる中で活かされている。
本学は学科関係なく、自由に単位取得が出来るため興味あることを学びやすかったです。仕事で行き詰まった時や息抜きの趣味(美術館巡り)に活かされると思います。
様々なことに興味をもてる。
様々なことに興味を持ち、取り組む姿勢の大切さを学んだことから、まずは挑戦するというチャレンジ精神に繋がっていると思います。

様々な業種の人と会話するための基礎教養がついた。早慶などのいわゆる非リベラル・アーツの大学の方と比較し、実学だけでなく、幅広い教養が着いたと実感している。
様々な講義で行われたグループで意見をまとめ課題をこなした経験が周囲との関係性を調整しながら仕事を円滑に行うことに活かされていると感じています。
様々な人と関わる際の会話
様々な物事に興味を持ち、学んでみようとする習慣が身についた。
様々な物事に興味を持ち、仕事に役立つ事柄だけではなく、自分の趣味に活かせる勉強も続けている。大学時代から継続して取り組んでいる事もあり、自分の人生にとって大変有意義な学びとなった。
理系科目も履修したのは、視野を広げる点においてとても良かったと思う。
旅行先や日常でふと大学で学んだ講義の内容を思い出すことがある。(アメリカと日本の cm の違いなど)色んな視点からの考え方を身につけられたと思う。
倫理観や常識のある行動をとれるようになってきている気がする

②否定的 (n=3)

いまだに、リベラル・アーツ教育がどのような教育だったのかよく分かっていません。つまり活かされているかすら分かりません。学校側の自己満足のような気がする。
共学出身者に比べまだまだ社会に出てからの発言力が弱い気がしています。特に定量的にかつ論理的に相手に説明する力を磨く力を、ディスカッション等を通し学ぶ時間があれば良かったと学生時代を振り返り思うことが多々あります。
現在の仕事内容と大学で学んだことが異なり、現在は勉強をしていないためあまり活かされていない。大学で学んだ知識の多くは忘れてしまっている。

③肯定的+否定的 (n=4)

一つの分野のみの知識ではなく、関係する分野や一般常識の知識などを学べたことは、社会で様々な方と会話する際に役に立ったと感じる。資料を作成する力・プレゼン力を身につけたらもっと良かったのかなと思う。
学部の学生時には幅広く興味のあることを学ぶことができた。しかし、専門性を持つには不足があり、改めて学び直しを行った。
公務員として多種多様な幅広い知識教養が求められるので、その意味ではリベラル・アーツ教育は有益だと思います。ただ、専門性は活かせていません。
東京女子大学に入学してからジェンダーという分野を知り副専攻しました。社会的な問題への関心はありますが「活かす」レベルには出来ていないと考えます。

④その他 (n=22)

IT企業に就職しましたが、専門性は活かされていないように感じる。
リベラル・アーツという言葉がそこまで社会に浸透してないので、私はわかりにくいと思う。
リベラル・アーツと言われて、何を学んだのかが分からないので回答が難しいです。
学科で学んだ専門内容を就職先で活かせる場面がないことが非常に悔しく感じられています。活

かせる場面を自ら見出していきたいと常に考えております。
金融関係に就職したが、結婚を機にトイレメーカーへ転職した。
専門性を生かした職業にはついていないと思います。
特に無し（学習した分野と今の仕事との関連性があまりないため）
特になし（n=15）

知識・能力・スキル

「本学での卒業までの学びを通して身につけた知識・能力・スキルのうち、特に社会で役立っているものがあれば教えてください。」の設問に対する自由記述を、「知識」「能力」「スキル」「その他」の4つのカテゴリに分けた結果を以下に示す。1つの記述に複数のカテゴリが入っている場合、該当箇所を分割して記載している。

①知識 (n=27)

〇〇先生の講義で学んだ情報心理学（集団心理など）、〇〇先生の講義で学んだ人間智の成熟などについては、社会の個々の場面で役立つというよりは、この社会で生き抜くための自分の基盤になっていると感じることがある。
IT パスポート
統計学
ジェンダーに関する授業は、自身のキャリア形成に大きく影響してと感じました。
プログラミングの基礎を学んでいたこと
学芸員課程の内容。仕事に活かしているわけではないが、学んだ知識や考え方は今も生きていると思う。
言語文化学科の〇〇ゼミで統計学を学び、数字に苦手を持つことなく、会社で売上や市場動向等の数字的分析を行えるようになった。また方言を学んだおかげで、全国の社員との関係性構築時に方言を話題の一つとしてコミュニケーションを取り、他の社員より近い関係性になれたと思う。
国際関係を学べたことは現在の国際情勢を追う際に役に立ったと思う。また、一つのことだけでなく、多方面にわたる分野を自主的に選んで学べることはいいことだと、社会に出たからより感じた。
史学専攻で学んだこと
社会心理学
社会心理学
ゼミで学んだ内容
社会調査士の資格取得に伴い勉強会した社会調査法の考え方はその後の仕事に役立ちました。
社会調査士や統計の授業で学んだこと
女性としてのキャリアの考え方
女性として社会で生きていくスキル(主にジェンダーの授業)
女性学・ジェンダー副専攻の授業での、ジェンダーに関する知識はその後も役立っています。
情報リテラシー、ジェンダーについての知識、インタビュー調査及び文字起こし
情報科目の単位を複数取得していたため、そこで学んだ処理方法や、統計学など
数学と量子力学 物理化学、研究室生活 データ構造とアルゴリズム 数値計算 講演会タイプの研究会:授業振替で聞いた他校の先生方による講演 〇〇先生のルター講演と授業 環境科学 女性学の総合教養科目 統計学 生徒にプレゼンテーションを課す授業:(授業によっては全くシラバスを無視してずっと生徒が順番でプレゼンをしているだけのものもあった、特にキリスト教

学が多い)
数学専攻ですが、他の科目も少しずつ学べたので、仕事で他分野の人と話すときに頭に入りやすいです。
専攻外の講義も受けることが出来たので、人と話す際など、知識として色々と知っていることが役に立っています。
卒論
他学科の講義で学んだ様々な知識
統計学
統計学。心理学。
物事を考えるとき、お世話になった先生の話の思い出があります
簿記
臨床心理士資格

②能力 (n=101)

課題分析
歴史学科は直接手に社会人スキルには結びつきませんが、歴史の流れ、社会的情勢を俯瞰的に観て、問題の本質は何か考える姿勢は身についたと思います。
課題に対して、自分で調べて解決していく力。周りの人と協力しながら、物事を取り組む力。
なぜ？と疑問を深く考える力
わからないことをそのままにしない力
日本文学が直接関係している仕事にはついていませんが、物事への考え方や取り組み方を学び、身に付けられたことで、どんなことに対しても適切な対応ができていると思います。
授業で培った批判的な視点や、ゼミで学んだマスメディアをリテラシーを持って受け取るということから、職場でも現状に満足せず自分の視点で改善できる点がないか批判的視点で見られるようになった。
問題意識を常に持って考えること。最後までやり抜くこと。今すべきことは何か日々考え、行動に移すこと。
「自分で考え行動する」力です。指示待ちではなく、自ら状況を把握し動く力が役立っています。
物事を客観視し、状況を判断する力
主体性。状況を整理する力。
関心のある出来事に対する情報収集能力
情報を収集するための知識とそれを活用する能力・スキルを学ぶことができ、現在役立っていると思います。
情報収集力 (n=3)
正しい情報の集め方、検索の仕方など。
先行研究を調べるスキル
専門性を磨くために、様々な資料にあたり情報収集する力。

調べたいことへのアプローチの仕方をたくさん持つておく力。
適切な情報を収集する力
分からないことや知りたいことは専門書を読んでみるというところ。
膨大な資料の中から必要な情報を見つける力
論文の読み方、正しい情報を判別する力
多面的に見るために出典や根拠となる情報を確認すること
必ず一次資料にあたる、引用する際は引用元を明記する、情報を鵜呑みにせず必ず裏付けをとる、情報の調べ方等が実生活でとても役に立っていると思います。
自ら関心を持った学問、分野について積極的に情報収集し、論理的に考え、適切な情報を扱いながら追求する力。
<ul style="list-style-type: none"> ・上辺だけの情報を鵜呑みにせず、自分でも調べたり人に相談しながら決められる(様々な教諭から伝えられたし、在学中に震災のデマが流布した際の注意も印象的だったから) ・作業する際手順やかかる時間を考慮して計画できるようになった
自分から情報収集する力
行動する力
情報収集する力、学び続ける力
多角的に考える力
多角的に物事を考える力が役立っている
多角度から物事をみて、物事のメリットデメリット、またそのリスクを考えられるスキル。
物事を多角的な視点で見るとができる能力。
物事を多角的に見る力
物事を多角的に捉え、多くの選択肢を発見することが出来る能力
物事を多角的に捉える力
様々な角度から物事を考える力
少人数でのゼミや奨励金研究、教職課程を通し、目的のために多様な手段をとることの大切さ、そのために周囲との間接的な議論を通し多角的な視点を持つことの重要性を学び、社会でも学生時代に培った姿勢・視座を活かすことができます。
多角的な思考と検証する力
様々な視点で物事を捉え、課題を解決していく力は非常に役立っています。
人の意見を聞く力。また、批判的に物事を考える力も併せて身についた事で、多角的な視点で見ることができる。
多角的かつ批判的に物事を考える力は、仕事上でイレギュラーな事態が発生した際やチームで意見が異なる際に特に活かすことができていると感じています。
物事を批評的に捉えること
多角的視点で考えること
現在、営業をしています。行動を分析して改善活動を行います。論文を書くという工程から、統

計を使ったり様々な視点から分析をするというのは役に立っていると思います。
突きつめる力、多方面から見る力等。
物事を多角的に見る力。また、多様な考えがあるのだということを理解できる力。
自己解決能力
考える力、犠牲と奉仕の心
主体的に行動する力
良くなるように自分で考えて考えてする力
哲学研究に勤しむにあたり、「社会で役立つ」という言葉がどれほど問題含みなのかを批判的に受け止める力が「社会で役立っている」と思います。
物事を鵜呑みにせず分析的に見る視点が身についた。
物事を疑問に思う力
マーケットやデータから読み取り、考察する能力。
社会学での社会調査スキルを役立たせています。
統計を読む力
統計的な数字の見方
日文でしたが日本語学でデータを扱っていたため、数値に強かったこと、また Excel の基本的な機能は使えた事が役に立ちました。かなりきついことで有名なサークルに所属していましたが、そこでの経験がかなり生きています。
自分を律すること。
自分を律する力
責任感
責任を持って主体的に行動する力が役立っていると思います。
責任感や物事を最後までやり遂げるといった精神は活かされている気がする。
・倫理観
キリスト教的精神(service and sacrifice)
リーダーシップ、自分で自分のことを決める力
チームで行動する力
調整力。
困難にぶつかっても学び続ける姿勢と、周りの人の協力を得て物事に取り組む力。
スキルとして、物怖じをせずに意見することが役立っている。少人数の講義が多かったのもあり、また、真面目な学生が多かったのもあり、特に英語の授業は話し合いの機会が設けられていたから、自分なりの意見を持って表明することの重要性を学んだ。現在の仕事にも役に立っている。
ビジョンとパッションをもってミッションする 前学長が仰っていたことですが、明確なビジョンと途切れることのない情熱を持ってではないと前に進めないことを先生から教わり、その信条を社会人として役立てています。
自由に考え、行動する力。

主体的に行動する力
女性だからといって、物怖じしないこと。
挑戦しようとする姿勢
挑戦心
能動的に行動する力、自分で考える力です。
自ら進んで最後までやり遂げる姿勢。
学び続ける姿勢 (n=2)
自ら学び考える力
<p>自主自立のイメージが大学にはありました。いろいろと用意した土台はあるけどどう過ごすかはあなた次第です、という感じ。このおかげで、興味のあることをとことん学び、わからないことは上司や先輩に臆することなく聞く、失敗を恐れないという心構えができました。私はメーカーの子会社に出向し営業を経て企画課で働いています。お客様との商談の時に大学で学んだことを披露したり、国語の教員免許を取得しているので若手社員に文章の作成の仕方を教えたり、ホームページを作成する際色彩検定を取得していたのでその知識から広告を作ったり。フランス語も今後何かの糧になるかと思い大学時代から勉強を続けています。</p>
<p>自主的に学び続ける姿勢が特に役立っている。大学時代の友人など周りに向上心を持ち、主体的に行動する人が多い環境にいたことで良い刺激を受けることができた。</p>
自分が学びたい分野のアプローチ方法
情報に興味を持って、自分でまず調べてみる。学ぶことを面倒くさがらないこと。
<p>大学2年で参加した国連研修の経験が非常に役立っている。自分のキャリアや夢の軸になっている。社会人になってから米国公認会計士の資格をもう少しで取り切り、再来年には米国の大学院の進学及び現地監査法人での就職を目指している。転職して国際協力業界で会計や財務の仕事を行なっている。いつか大学生で見た景色を自分の職場の目線から見れるようにまっすぐ夢を追い続けたい。</p>
<p>大学では万葉集について学んでいたのですが、大学を卒業してからも、常に様々な事に興味を持って、余暇として学んできました。その際に「どのように学ぶ対象にアプローチすればいいか」という事を、大学で学んだため、それを生かす事が出来、非常に自分の人生が豊かになっていると思います。大学の学びが社会に役立つというと「大学で学んだことを生かして研究者や教師になる」「大学で主体的に勉強した事が、企業の第一線で活躍する事に役立っている」という事が言われがちだと感じます。それは勿論素晴らしい事だとは思いますが、それ故に「上記の様になれない自分はダメな人間なんだな」と思ってしまう人もいるのではと思います。（私もかつてそうでした。）なので、私が挙げたような「社会での役立ち方」も尊重してもらえる様な世の中であつたらいいなと思います。</p>
やり抜く力
継続する大切さ
最後までやり遂げるスキル

ジェンダーの副専攻を履修したのが良かったです。知識が得られたことはもちろん、多様性を重んじる考え方が身に付きました。社会に出たら、前時代的な考え方の大人が意外と多く驚きました。大学時代に学べて良かったと思います。
学歴(卒業した大学名)に縛られず、多様性があること。
言語の観点から学び、深めた、多様性への理解。男女差別や人種差別など、偏見を持つことなく、常に平等とは何かを意識するよう心掛けています。
多様性に対する理解。直接的ではないかもしれませんが、考え方として組織開発などにおいて影響を受けていると思います。
多様性を受け入れること
多様性を大切にす精神と責任の意味を知った。その学びは、学びの中でも仕事でも同じであり、自分の意見や気持ちを大切にしつつ、相手の意見もまっすぐ受け止める。その上での取捨選択は自分次第である。ゼミの教授が教えてくれたことで、その考え方がすごく生きていると思う。
マルチタスク遂行力。
締切を守る
在学中、教授が東女の学生についてとても褒めてくださっていたので、自己肯定感が高まり、自信を持って社会に出られたと思います。
女性としての活躍の仕方
女性の生き方の多様性の理解
地域との関わり
物事を学際的に考える視点

③スキル (n=97)

情報を読み取るスキル
哲学の文献の精読は、文章を深く読み込む力をつけてくれたと思います。
ゼミで身につけた、英語の資料を読む力、まとめてプレゼンをする力、質疑応答に対応する力は仕事で役に立っている。
要点を掴んで、キャッチコピーを作り、目立たせることで、顧客の注意を引くことができます
要約する力
論文の作成、読解力
<ul style="list-style-type: none"> ・他者の発言から何が言いたいのか読み取る力 ・情報を得て資料に反映させるスキル ・人間関係の構築
たくさんありますが、現在の業務に役立っているのはプレゼンテーションの組み立て方です。企画立案の際には必ず大学で学んだ骨子に沿って、資料などを作成するようにしています。
プレゼンテーションスキル(n=2)
プレゼンテーション資料の作成や発表などは社会に出ても役立っている

プレゼンテーション能力
プレゼンテーション能力など、人前で発表する力がついたと思います。
教員免許は取得してよかったと思っています。教員免許は教師になる為に必要な免許ではありませんが、免許取得に必要な必須科目の中に授業を構築する、人前に立って発表するという機会が多数設けられており、これは教師だけに必要なスキルではなく、一般企業でも非常に役に立ちます。教職の授業は教員になる人だけがとるものと思われがちですが、免許は持っていて損はないですし、教職の授業を通して自身のスキルアップができますので、教職はできる限り多くの方が取得すると良いと思っています。
教職についているので、教職課程のカリキュラムの中で身につけた発表スキルを役立たせています。
<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションスキル ・レポート作成で身につけた文章能力→会社でのマニュアルや報告書作成に役立ちました。
プレゼンテーションの構成
論文など説得力のある文章構成を作成するスキル
他者とのコミュニケーション能力
パワポ、エクセル、ワード
あとプレゼンテーション能力はついたと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションスキル ・ITスキル ・英語力(TOEIC受験など)
英語で卒論を書き、文章を書くことに慣れたため、英語のメールの読み書きをする時に役立っている。授業で、「発表」を繰り返してきたため、職場内で、何かを発表することがあまり苦にならない。
ディスカッションスキル
ディスカッション能力
卒論の作成で培った論理的な説明力が特に役立っています
論理的に思考し、客観的に物事を捉えること
論理的思考(n=2)
論理的思考力(n=2)
誰とでも穏やかに会話を進めるという意味でのコミュニケーション能力
会話の組み立て方(段階立てて話す)
論理的思考、英語
基礎学力の高さと論理的な思考能力が役に立っています。
レポートなどを書く力
卒論製作を通して、情報収集能力や文章スキルが身に着いたと感じている。
文章力(n=3)

文章力、書類作成能力
考えを文章にすること、パソコンの使い方など
自分の考えや事象を相手に分かりやすく伝える能力。少人数のゼミで論文添削をして頂き、身につけることが出来ました。
パソコンスキル(n=4)
プログラミング能力
情報の知識がとても役に立っています。エクセルの使い方などは一通り覚えておくと良いです
Excel の活用・応用
ppt と Excel のスキル。プログラミングの授業ももっと真剣に取り組んでいれば役に立ったと思う。
パワーポイント学ぶ授業で習ったスキルが活かしている。逆にエクセル関数についてほぼ学べなかったの、そこは力を入れて欲しかった。語学も実際に使用できるほどは身に付かなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力 ・目上の方への接し方(マナー)
・職場やプライベートで何かの作業をする際、その場で他の人と協力しながら進められる。
カウンセリング技術として受容と共感の姿勢を学んだことが役に立った。
キャリア・イングリッシュ課程で身につけた話す、考える力が社会人としてどんな場面でも役に立っています。
グループで課題に取り組むスキル
コミュニケーション能力(n=7)
コミュニケーション能力や交渉力。社会に出るとたくさんの方々と関わる機会があります。今特に新規プロジェクトに携わっているので、大学の時に学んだこの二つの能力を存分に発揮できていると思います。
さまざまなバックグラウンドを持つ方々と関わるコミュニケーション力。
どんな人とも議論ができる。
まわりにあわせる能力
海外の人と接するときも、こちらが言語が話せなくてもドキドキせず、自分にできる限りの対応を落ち着いてできる
学習の場を通じた幅広い交友、人間関係の築き方
学生時代に学内外の活動で身につけたコミュニケーション能力は大変役に立っているように感じます。
協調性。柔軟性。
社会性、協調性
社交性(n=2)
主に寮生活においてですが、自分と異なる環境で生きてきた人たちと仲良くなるスキルを身につけたように思います。

女子大ということもあり、女性が多い職場で、いかに周りに反感を買わずに自分の意見を伝えたりするか等、世渡りの仕方が身についた。
人の心をより深く考えるようになった。心理学の授業をとった際に、他人が時と場合によってとる行動を冷静に考えることができるようになった。
分析力とコミュニケーション力。特に相手の心情を読み解くためのスキルは、基礎を学んだからこそ、ようやく実力がついてきたと感じている。
その場に応じた適応能力。英語力。
部活動（チアダンス部）でのコミュニケーション力やチーム力、努力し続ける力が仕事に活かされている。また、英語力も活かされている。
キャリアイングリッシュ課程の英語プログラムと、言語文化学科内での英語の授業によって培われた英語スキル（卒業後、10年経ってもビジネス英語の土台となっています）
英語でのコミュニケーションスキル
英語でのプレゼンの仕方、結果から言うというのは仕事でとても役に立っている。
英語でメールを書く
英語で卒論を書いたことで身につけたスキルは、働きだしてから大きな自信としてあります。
英語と国際社会で生き抜く力
英語の会話です。キャリアイングリッシュアイランドでの英会話など、留学をせずともビジネスの場で困らない程度の英会話力を付けることができました。
英語の幅広い知識が役立っています。
英語力 (n=2)
英語力です。ネイティブの方とのやり取りが多く、学生時代に学んだ英語が役に立っています。
英語力は貿易実務の仕事をする上で役立っています。
英語と韓国語。英語についてはなんとなく翻訳できて、職場の上司に一目置かれるようになった。
外国語(主に英語)
日本語と英語を主に学んでいたため、ビジネスメールやちょっとした英訳などに抵抗は無い。
語学力 (n=2)
語学力(第二外国語)
第二外国語 (中国語)
日本語力

④その他 (n=11)

英語を使わない企業に就職したため、特に大学で得た知識を使った記憶はありませんでした。
ありません（大変居心地良く過ごさせていただきましたので、東京女子大学の教育を批判しているわけではありません。）
特になし (n=9)

5. 卒業後の状況

卒業後の進路・就職先などについて尋ねた結果を図15～図20に示す。卒業後は、約9割が就職し、そのうち3割近くが転職もしくは退職を選択した。その理由は、1番が「職場とのミスマッチ」、次に「キャリア・アップのため」だった。現在の就業形態を尋ねた所、約5割「正社員（総合職）」、次に「正社員（一般職）」、3番目が「正社員（専門職）」だった。

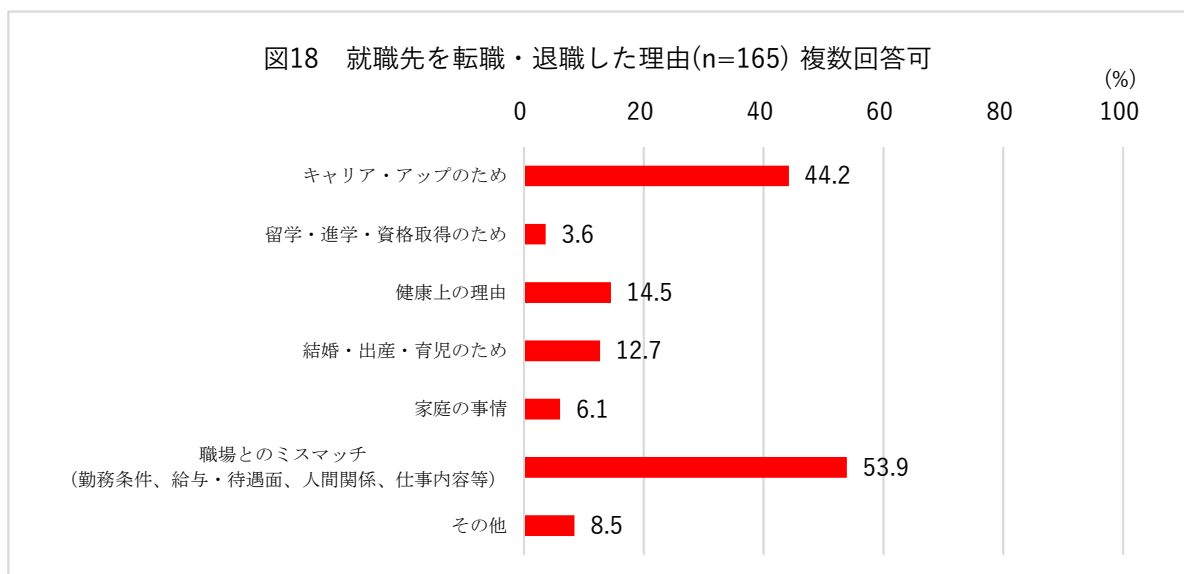
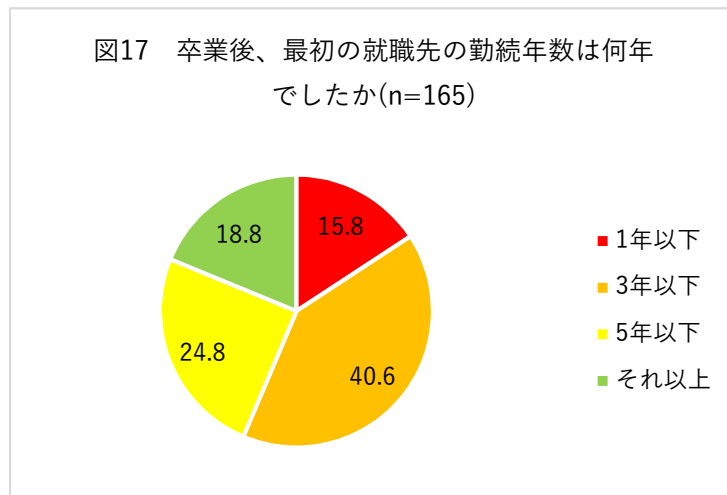
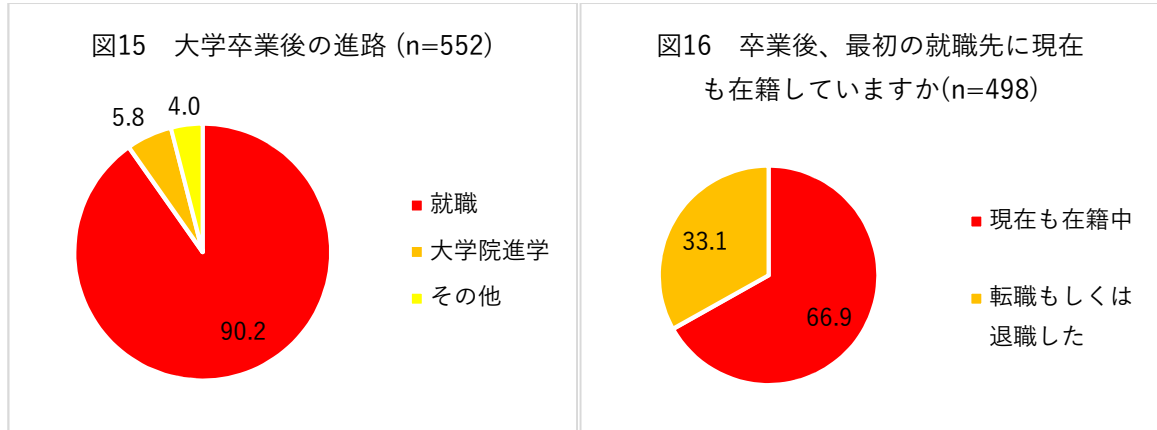


図19 現在、あなたは仕事に就いていますか
(n=219)

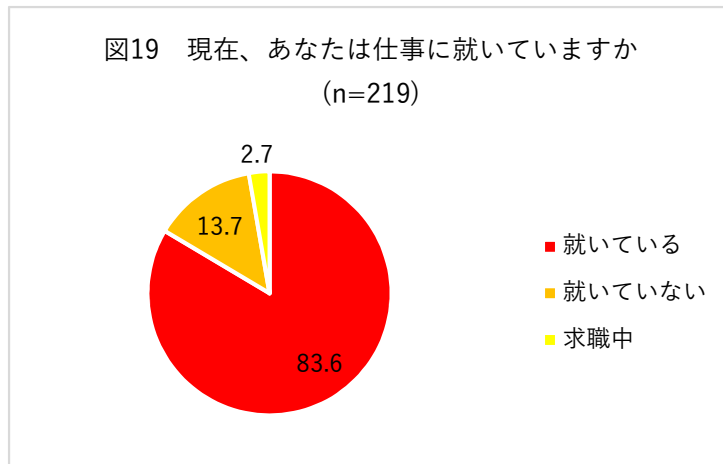
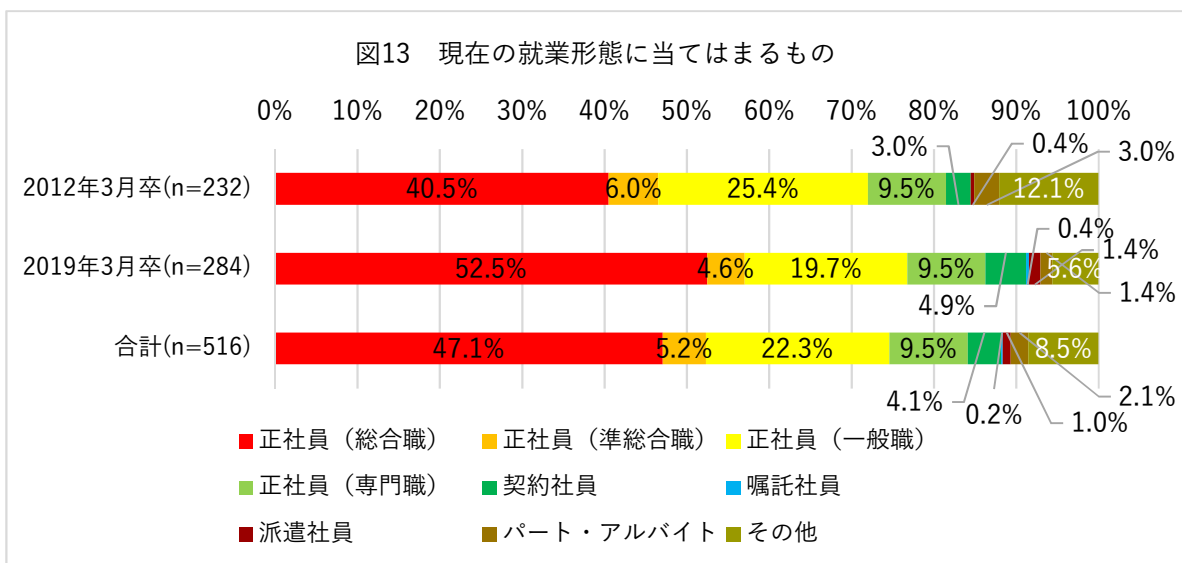


図13 現在の就業形態に当てはまるもの



「その他」

その他の具体例の記述には以下のようなものがあった。

- ・ 法人理事
- ・ 正社員 (クリエイティブ職・法律事務所秘書)
- ・ 無期契約社員
- ・ 公務員 (東京都教職員・地方公務員・臨時職員・会計年度職員・高校教員・中学教員)
- ・ 教員 (中学校・小学校)
- ・ 保育士
- ・ 大学助教授
- ・ 大学非常勤講師
- ・ 教諭
- ・ 医者
- ・ 医療機関事務職 (医師事務作業補助者)
- ・ 会計年度任用職員
- ・ 自営業

- ・ 個人事業主・フリーランス
- ・ 業務委託
- ・ ダブルワーク・トリプルワーク

など